








(別紙)「MPL 訓練と従来方式との比較」

① JAL における MPL 制度導入後の副操縦士養成のイメージ

- ・飛行訓練装置などの機材を最大限活用し、エアラインの副操縦士養成に特化した訓練を実施。
- ・訓練効率が向上することで、訓練期間が約 6 カ月以上短縮。

小型機の操縦に必要な能力

Multi Crewによる運航に必要な能力

約26～30カ月					路線訓練(約4～5カ月)	約6カ月以上短縮
MPL訓練課程(約22～25カ月)						
国内座学	Core		Basic	Intermediate/Advanced		
自社訓練	委託訓練 (米国)			自社訓練		
						

② JAL における従来の副操縦士養成のイメージ

- ・大型機(2人操縦機)の資格取得のために、小型機(1人操縦機)の機長としての訓練が長期かつ多く必要。
- ・機能が飛躍的に向上している飛行訓練装置などの機材の活用が限定的。

小型機による操縦訓練

実用機による操縦訓練

約36カ月					路線訓練(約4～5カ月)
基礎訓練課程(約25カ月)					
国内座学	単発プロペラ機訓練		双発機訓練	計器飛行訓練	
自社訓練					
					